

2020年度 決算概要

- I. 2020年度 連結業績概要
 - II. 中期3ヶ年計画 フォワード304 総括
 - III. 2021年度 連結業績予想
 - IV. 新中期経営計画について
- 《参考資料》 主要指標推移

※ 本資料に記載されている業績予想、並びに将来予測は、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠していますが、その正確性、或いは完全性について、当社は何ら表明、及び保証するものではなく、実際の業績は、様々な要因の変化により、記載されている業績予想、並びに将来予測とは異なる可能性があることをご承知おきください。



中越パルプ工業株式会社

※本資料は百万円未満を切り捨てて表示してあります。

I. 2020年度 連結業績概要

連結業績概要

(単位：百万円)

	2019年度	2020年度	増 減
売 上 高	95,140	81,938	▲13,202
営 業 利 益	2,057	▲347	▲2,404
経 常 利 益	1,985	▲319	▲2,304
親会社株式に帰属する 当期純利益	919	▲1,052	▲1,971
為 替 レ ー ト (円 /US\$)	109.24	106.10	3.14円高
ド バ イ 原 油 (US\$/BBL)	64.47	42.25	22.22安
減 価 償 却 費	6,980	6,764	▲216
連 結 子 会 社 数	8	8	±0
持分法適用会社数	6	6	±0

セグメント別損益

(単位：百万円)

		紙・パルプ 製造事業	発電事業	その他	調整額	合 計
2019年度	売 上 高	83,437	6,983	19,648	▲14,928	95,140
	セグメント 損 益	518	1,295	159	83	2,057
2020年度	売 上 高	70,580	7,131	17,162	▲12,935	81,938
	セグメント 損 益	▲2,150	1,562	139	101	▲347
増 減	売 上 高	▲12,857	148	▲2,486	1,993	▲13,202
	セグメント 損 益	▲2,668	267	▲20	18	▲2,404

連結営業利益増減内訳

2019年度

21億円

(単位：億円)



連結有形固定資産増減明細

(単位：百万円)

	期首残高	増加	減価償却	除却等	期末残高	増減
中越パルプ	53,442	4,062	▲6,391	▲532	50,581	▲2,861
連結子会社	4,125	1,601	▲280	▲15	5,431	1,306
(連結調整)	▲949	▲804	19	15	▲1,719	▲770
合計	56,618	4,859	▲6,652	▲532	54,293	▲2,325

主なる増加の内訳

- ・高岡工場 特高変電所機器更新 8億円
- ・川内工場 1マシンヘッドボックス更新 3億円
- ・中越エコプロダクツ マプカ工場建設工事 7億円

設備投資計画の概要

2019年度(実績)	60億円
2020年度(実績)	49億円
2021年度	69億円
2022年度	46億円

※ 上記金額には新中期経営計画に伴う設備投資は含んでおりません。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2019年度	2020年度	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,344	5,965	▲2,379
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲4,651	▲3,898	+753
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,387	6,284	+8,671
現金及び現金同等物残高	7,222	15,575	+8,353

営業活動によるキャッシュ・フロー内訳 (億円)

減価償却費 67、棚卸資産の減少 35 他

仕入債務の減少▲29、税金等調整前当期純損失▲10、法人税等の支払▲4 他

投資活動によるキャッシュ・フロー内訳 (億円)

有形固定資産の取得▲47、長期貸付金の回収 6、短期貸付金の回収 3 他

財務活動によるキャッシュ・フロー内訳 (億円)

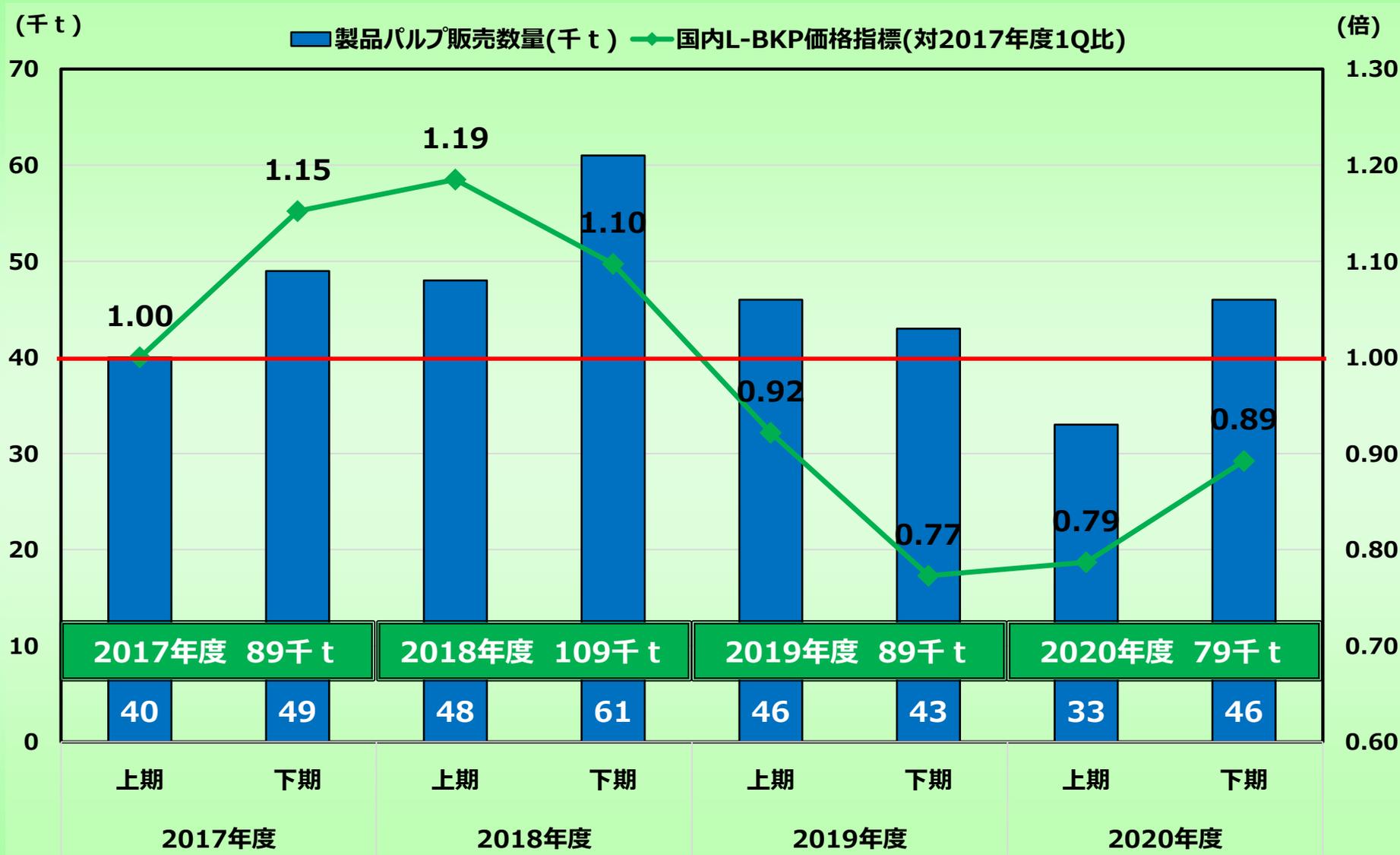
長期借入金の増加 47、短期借入金の増加 19、配当金支払▲3 他

Ⅱ. 中期3ヶ年計画 フォワード304 総括

フオワード304総括 ロードマップ実績

		2018年度				2019年度				2020年度					
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
パルプ事業拡大	実績	ラインナップ拡充に向けて設備設置		稼働開始											
	実績	高機能CNFパイロットプラント建設計画化										CNF樹脂展開強化（PDPを用いたマスターバッチ（MB）品の開発）		2020年9月よりMBサンプル販売開始	
合併事業への参画	実績	合併会社設立		食品トレイ事業 建屋設計・設備検討				建屋建設		設備設置		断熱シート事業 検討			
	実績	検討										実行			

フオワード304総括 取り組み結果①



フオワード304総括 取り組み結果②

●高機能セルロースナノファイバー(CNF) パイロットプラント建設計画

2019年4月から計画策定に向け 機器選定、プラント詳細設計の取組開始

新型コロナウイルス
感染拡大の影響

- ・設備選定テスト等の遅延発生
- ・国内外の経済活動の抑制・停滞の影響

建設計画の再考

(2020年4月)

- ・開発スケジュールの見直実施
- ・高機能CNFの高グレード化、低コスト化に取り組む

→ 設備選定の充足・強化、計画フローの再検討

設備検証テスト開始

(2021年下期～)

- ・既存建屋(川内、高岡)にて新規導入設備の検証テストを開始

→ 運転方法の最適化、計画フローへのフィードバック

- ・検証設備でサンプル製造量UPを図り、客先展開を推し進める

※計画概要

高岡工場内 生産能力 : 年間約60トン

- ①疎水化CNF 「nanoforest-M」
- ②高解繊CNF 「nanoforest-S」
- ③CNF100%成形体 「nanoforest-CMB」

- ・当社CNFブランド「nanoforest®」の商品展開を強かに推し進めていく。

フオワード304総括 取り組み結果②

Nanoforest®の研究開発状況

2020年9月、マスターバッチ(MB)品の販売開始

- ・樹脂へのCNFの分散性を改善したMB品のサンプル販売を展開中

樹脂以外の分野への利用拡大

- ・油脂、農業畜産関連、建設関連などの、従来とは異なる分野へ利用拡大に向けての研究開発を推進

高機能CNF(高解繊品、疎水化品)の用途開拓

- ・化粧品分野への応用するための研究開発
- ・客先へのサンプル販売と情報のフィードバック

国産材100%原料から製造された『**竹CNF**』の強みを活かした販売展開を進めていく

フワード304総括 取り組み結果③

◎合併事業への参画

- ・プラスチック使用量を大幅削減する新素材MAPKA®(マップカ)
富山県 高岡工場内にマップカペレット製造設備を設置



建屋外観



設備外観

新型コロナウイルス感染症拡大の影響

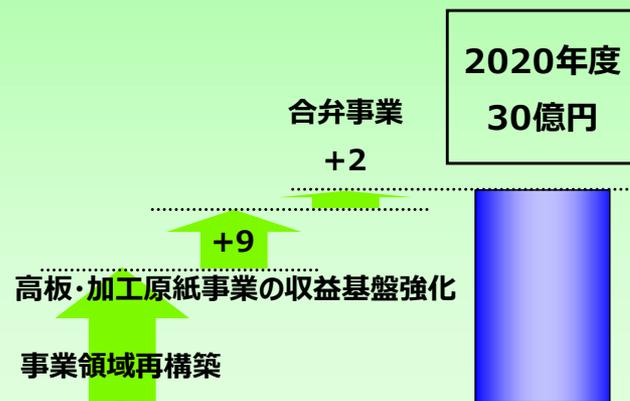
- ・機械設置の遅延
⇒日本のエンジニアリング会社に変更し
スピードアップを図る
『2022年春 稼働予定』



「MAPKA®」は(株)環境経営総合研究所の登録商標です。

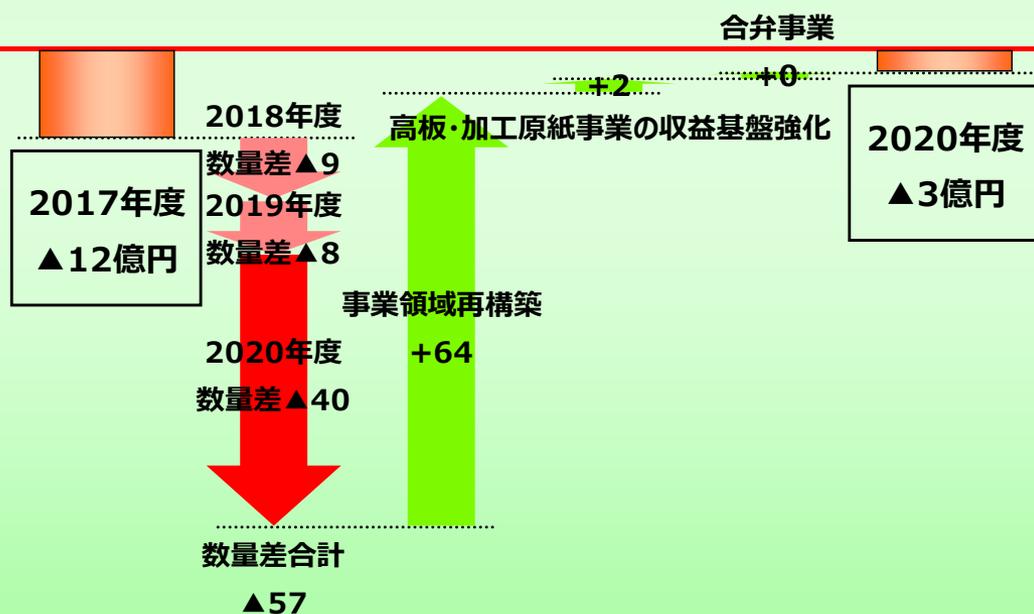
フォワード304総括 連結営業利益結果

フォワード304計画概要



フォワード304実績総括

(単位：億円)



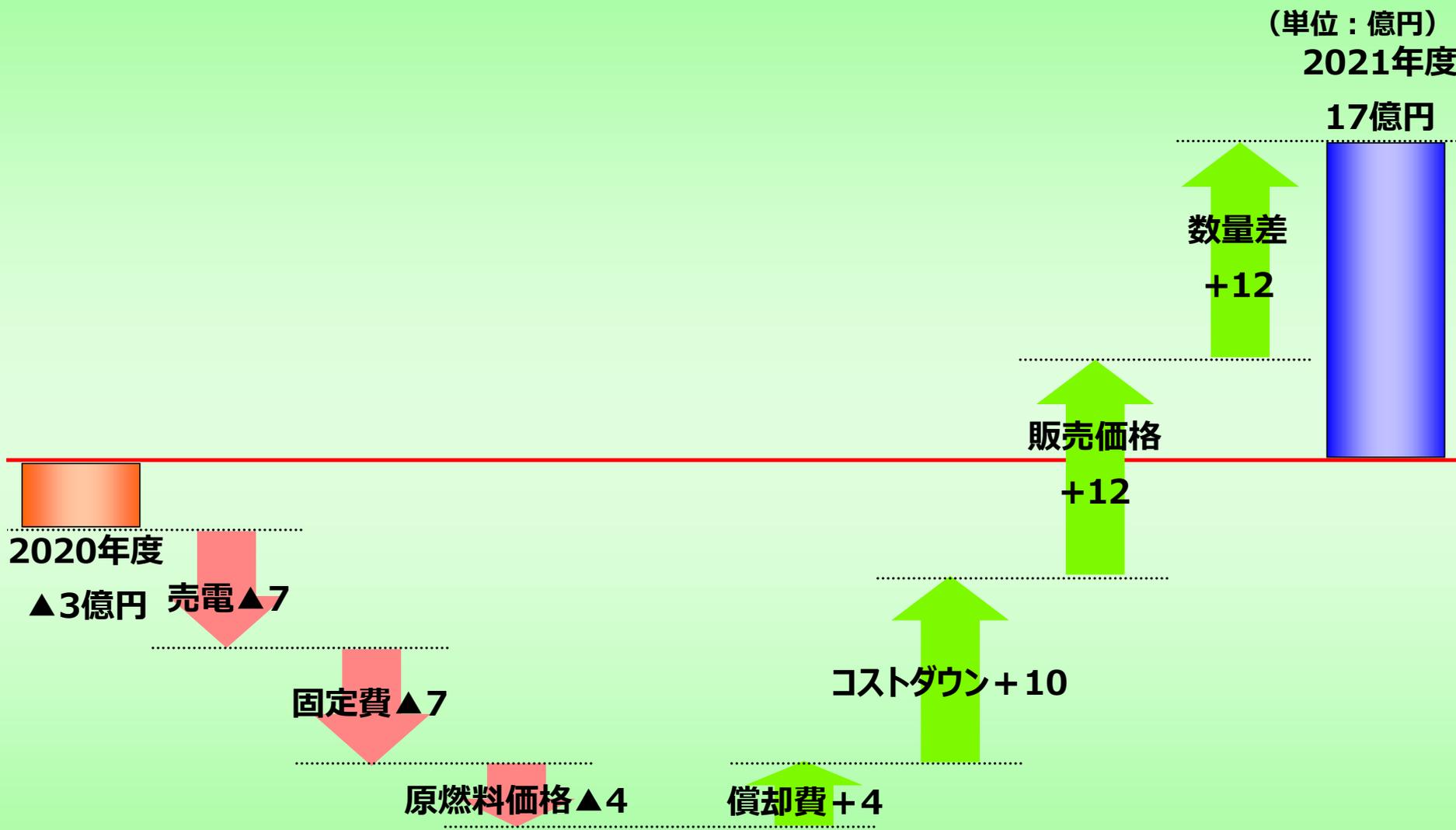
Ⅲ. 2021年度 連結業績予想

連結業績予想

(単位：百万円)

	2020年度	2021年度	増 減
売 上 高	81,938	85,000	+3,062
営 業 利 益	▲347	1,650	+1,997
経 常 利 益	▲319	1,750	+2,069
親会社株式に帰属する 当 期 純 利 益	▲1,052	700	+1,752
為 替 レ ー ト (円 /US\$)	106.10	110.00	3.90円安
ド バ イ 原 油 (US\$/BBL)	42.25	65.00	22.75高
減 価 償 却 費	6,764	6,339	▲425

連結営業利益増減内訳 (計画)



IV. 新中期経営計画について

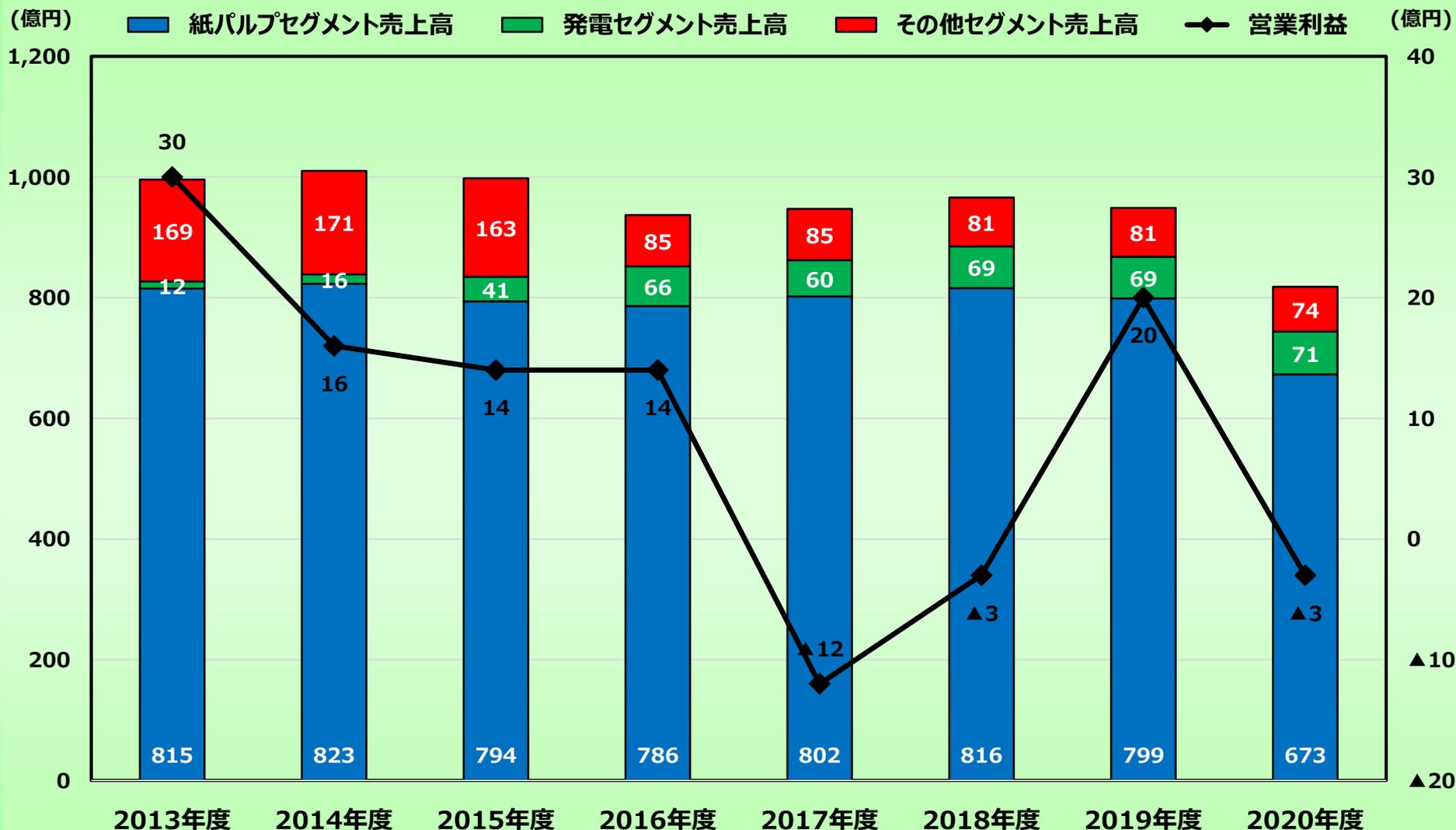
新中期経営計画

当社グループは、国内洋紙事業が減退していく中においても、安定した収益を確保できる事業基盤の強化と不採算事業の見直し、それを土台とした、成長事業、新規事業への投資による事業ポートフォリオの再構築を経営課題としております。

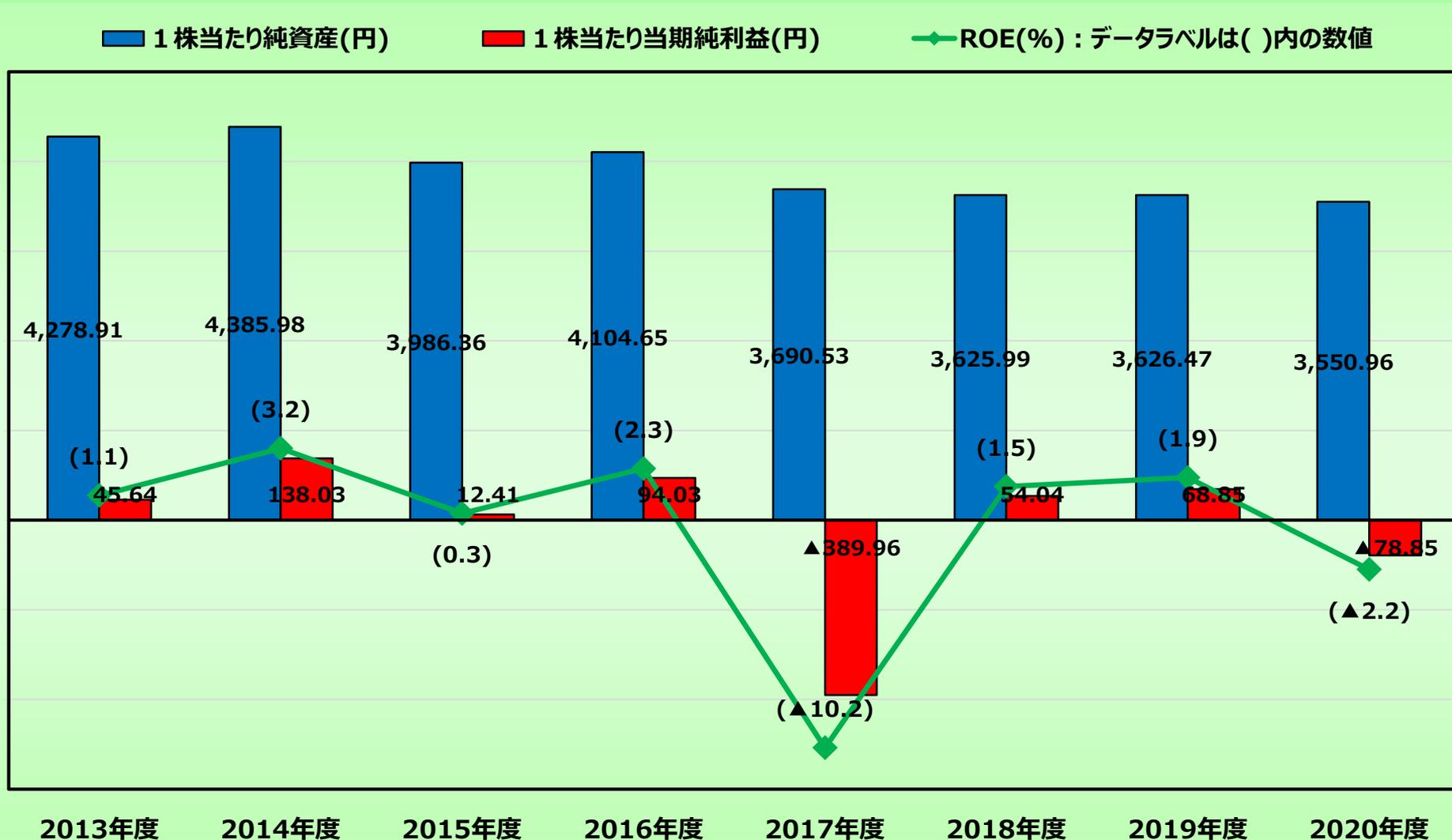
現在、新中期経営計画について具体的な案件の精査を進めておりますが、完成までには今しばらくの時間を要するため、完成次第速やかに公表させていただく予定にしております。

《參考資料》 主要指標推移

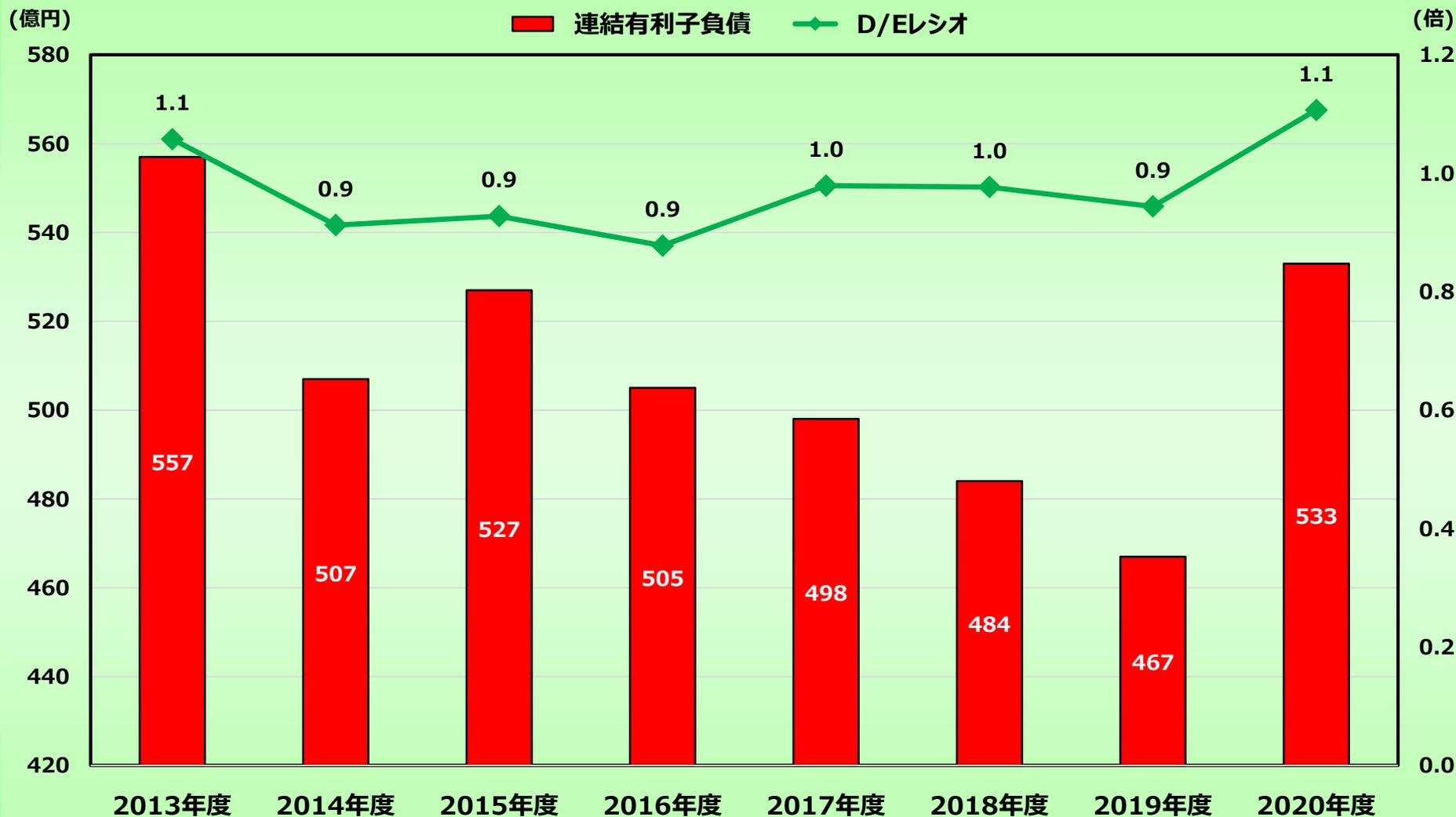
《参考資料》連結業績推移



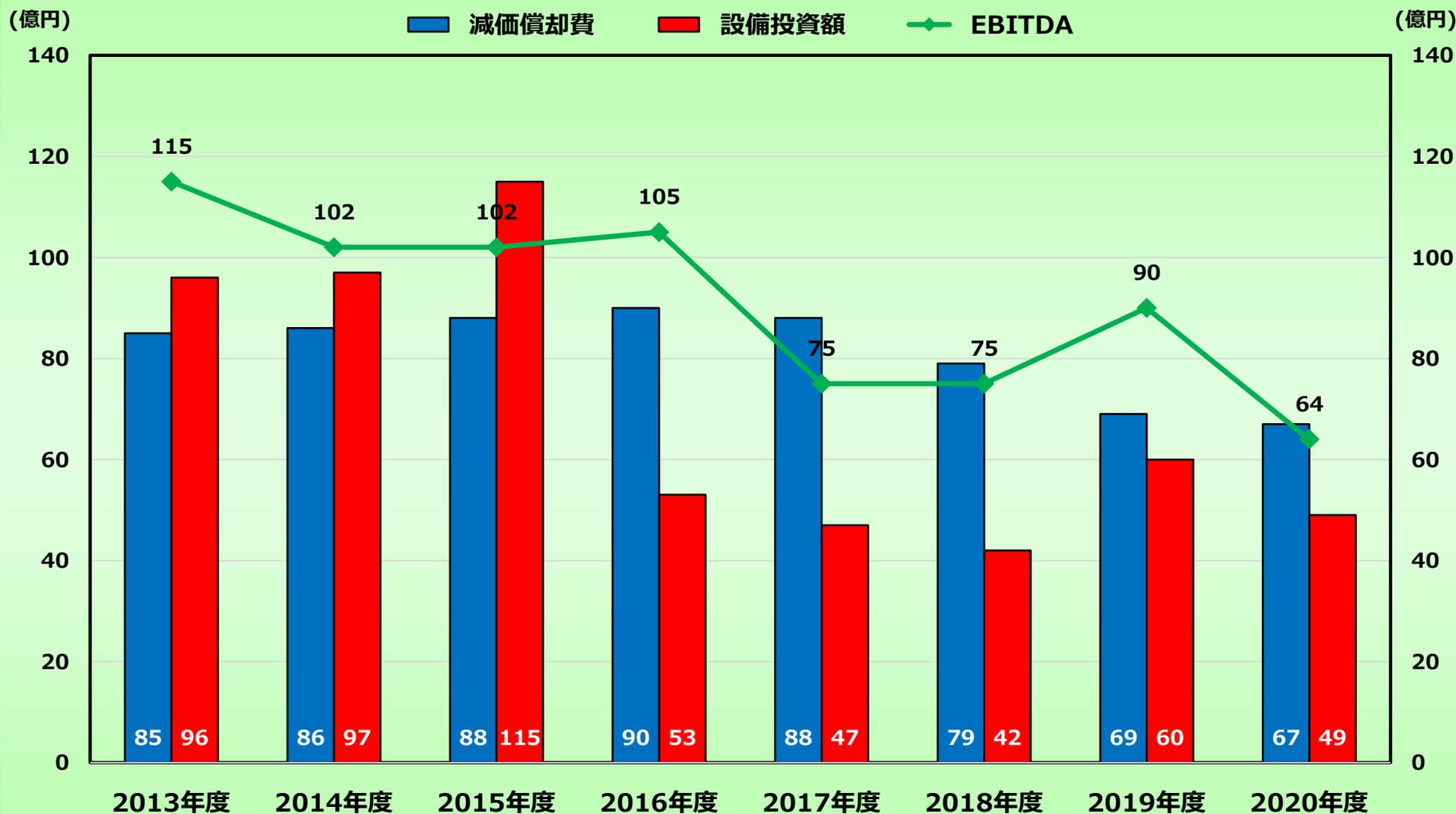
《参考資料》連結自己資本利益率(ROE)推移



《参考資料》連結有利子負債残高推移



《参考資料》連結設備投融资・減価償却費推移



《参考資料》原燃料価格推移（対2009年度比較）

